

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-123517

(P2002-123517A)

(43) 公開日 平成14年4月26日 (2002. 4. 26)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/30	1 3 0	G 0 6 F 17/30	1 3 0 A 5 B 0 4 9
	1 1 0		1 1 0 F 5 B 0 7 5
	2 2 0		2 2 0 Z
	3 2 0		3 2 0 D
17/60	1 7 0	17/60	1 7 0 A
審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 6 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2000-314812(P2000-314812)

(22) 出願日 平成12年10月16日 (2000. 10. 16)

(71) 出願人 500203020

早川 昇

大阪府枚方市楠葉野田 1 丁目 26 番 9 号

(71) 出願人 500061785

平尾 真一

兵庫県尼崎市南武庫之荘 3 丁目 13 番 14 号

おおとりマンション 302 号室

(72) 発明者 早川 昇

大阪府枚方市楠葉野田 1 丁目 26 番 9 号

(74) 代理人 100074332

弁理士 藤本 昇 (外 1 名)

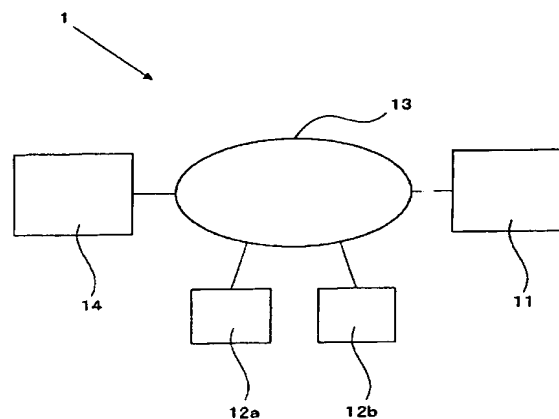
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 検索キーワード解析システム

(57) 【要約】

【課題】 インターネットを介してウェブサイトアクセスした際に利用した検索用キーワードを解析し、前記ウェブサイトの運営に関わるマーケティングデータとして有効利用を図り得る検索キーワード解析システムを提供する。

【解決手段】 検索キーワード解析システム 1 は、インターネット 13 を介してクライアントコンピュータ 12 a に接続され得るサーバ 11 を備え、サーバ 11 は、クライアントコンピュータ 12 a を通じて、外部サーバ 14 が具備する外部サーチエンジンのキーワード検索機能が利用され、サーバ 11 が提供するウェブサイトアクセスされた場合、検索に利用されたキーワードを記録し、キーワード毎に利用数を集計することを特徴とする。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットを介してクライアントコンピュータに接続され得るサーバを備え、  
該サーバは、クライアントコンピュータを通じて、外部サーチエンジンのキーワード検索機能が利用され、前記サーバが提供するウェブサイトにアクセスされた場合、検索に利用されたキーワードを記録し、キーワード毎に利用数を集計することを特徴とする検索キーワード解析システム。

【請求項2】 前記サーバは、クライアントコンピュータを通じて、前記サーバが具備する内部サーチエンジンのキーワード検索機能が利用され、前記サーバが提供するウェブサイトにアクセスされた場合にも、検索に利用されたキーワードを記録し、キーワード毎に利用数を集計することを特徴とする請求項1に記載の検索キーワード解析システム。

【請求項3】 前記サーバは、類語辞書を具備しており、前記検索に利用されたキーワードを前記類語辞書を利用して所定の類語キーワードに纏め、該類語キーワード毎に利用数を集計することを特徴とする請求項1又は2に記載の検索キーワード解析システム。

【請求項4】 請求項1から3のいずれかに記載のサーバの動作を実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットを介してウェブサイトにアクセスした際に利用した検索用キーワードを解析し、前記ウェブサイトの運営に関わるマーケティングデータとして有効利用を図り得る検索キーワード解析システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来より、ウェブサイトのアクセス解析を行い得る種々のシステムが存在するが、それらはサイト訪問者を主たる解析対象としており、解析結果として単に訪問者数を数値で表示するものが殆どであった。

【0003】しかしながら、前述したような解析結果は、サイトを運営した結果として得られる単なるアクセス数にすぎず、訪問者がどのような情報を求めて訪問したか等、将来のウェブサイト運営手法を検討する上でのマーケティングデータとしては不十分であった。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、斯かる従来技術の問題点を解決するべくなされたもので、インターネットを介してウェブサイトにアクセスした際に利用した検索用キーワードを解析し、前記ウェブサイトの運営に関わるマーケティングデータとして有効利用を図り得る検索キーワード解析システムを提供することを目的とする。

## 【0005】

2

【課題を解決するための手段】斯かる課題を解決するべく、本発明は、インターネットを介してクライアントコンピュータに接続され得るサーバを備え、該サーバは、クライアントコンピュータを通じて、外部サーチエンジンのキーワード検索機能が利用され、前記サーバが提供するウェブサイトにアクセスされた場合、検索に利用されたキーワードを記録し、キーワード毎に利用数を集計することを特徴とする検索キーワード解析システムを提供するものである。

【0006】斯かる発明によれば、外部サーチエンジンのキーワード検索機能が利用されて、サーバが提供するウェブサイトにアクセスされた場合、前記サーバは、検索に利用されたキーワードを記録し、キーワード毎に利用数を集計するため、斯かるキーワードの集計結果を足掛りとして、ウェブサイトの訪問者がどのような情報を求めて訪問したか等のニーズ傾向を簡易且つ的確に把握することができ、ひいては前記ウェブサイトの将来の運営方針を決定するのに有用なマーケティングデータとして利用することが可能である。なお、「外部サーチエンジン」の語は、検索キーワード解析を行う本発明に係るサーバとは異なる他のサーバが具備するサーチエンジンを意味するものとして使用する。

【0007】好ましくは、前記サーバは、クライアントコンピュータを通じて、前記サーバが具備する内部サーチエンジンのキーワード検索機能が利用され、前記サーバが提供するウェブサイトにアクセスされた場合にも、検索に利用されたキーワードを記録し、キーワード毎に利用数を集計するように構成される。

【0008】斯かる発明によれば、サーバ自体が内部サーチエンジンを具備する場合において、当該内部サーチエンジンのキーワード検索機能が利用された場合にも、キーワード毎の集計がなされるため、有用なマーケティングデータとして利用することが可能である。

【0009】好ましくは、前記サーバは、類語辞書を具備しており、前記検索に利用されたキーワードを前記類語辞書を利用して所定の類語キーワードに纏め、該類語毎に利用数を集計するように構成される。

【0010】斯かる発明によれば、サーバが具備する類語辞書により、キーワードが所定の類語に纏められた形態で集計されるため、キーワードを文言通りにそのまま集計する場合、すなわち、意味的には同様のキーワードであるにも関わらず、少しでも文言が異なれば別のキーワードとして取扱って別個にカウントする場合に比べ、ウェブサイトの訪問者のニーズ傾向をより一層的確に把握し得ることが期待できる。

【0011】また、本発明は、前記サーバの動作を実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体としても提供され得る。

## 【0012】

50 【発明の実施の形態】以下、添付図面を参照しつつ、本

発明の一実施形態について説明する。図1は、本発明に係る検索キーワード解析システムの一実施形態を示す概略構成図である。図1に示すように、本実施形態に係る検索キーワード解析システム1は、インターネット13を介してクライアントコンピュータ12a、12b（12aは一般ユーザが使用するクライアントコンピュータを、12bはサーバ11の管理運営者として認証された特定ユーザが使用するクライアントコンピュータをそれぞれ意味する）に接続されたサーバ11を備えている。

サーバ11は、電子ショップや、商品・サービスの宣伝広告等、種々の情報を提示するウェブサイトを提供している。また、サーバ11は、キーワード検索機能を有する内部サーチエンジンを具備しており、入力されたキーワードに適合し且つサーバ11が提供するウェブサイトを検索可能である。さらに、サーバ11には、インターネット13を介して、キーワード検索機能を有するサーチエンジンを具備した他のサーバ14が接続されている（以下、前記サーチエンジンを「外部サーチエンジン」、前記他のサーバ14を「外部サーバ」という）。

【0013】以下、斯かる構成を有する検索キーワード解析システム1の動作について説明する。

【0014】まず、一般ユーザが、クライアントコンピュータ12aを通じて、外部サーバ14が具備する外部サーチエンジンを利用してサーバ11の所定のウェブサイトへアクセスする場合について説明する。この場合、一般ユーザは、まずクライアントコンピュータ12aを通じて外部サーバ14にアクセスした後、所望する情報に関連するキーワードを外部サーチエンジンに入力する。次に、外部サーチエンジンは、前記入力されたキーワードに適合する情報を提供するウェブサイトのURLをクライアントコンピュータ12aに提示する。一般ユーザは、クライアントコンピュータ12aを通じて、前記URLのウェブサイトを提供するサーバ11にアクセスし、所望する情報を入手することが可能である。この際、公知の技術を使用することにより、前記検索に利用されたキーワードもサーバ11に送信されるように構成されている。送信されたキーワードは、サーバ11のログファイルに記録される。

【0015】次に、一般ユーザが、クライアントコンピュータ12aを通じて、サーバ11が具備する内部サーチエンジンを利用してサーバ11の所定のウェブサイトへアクセスする場合について説明する。この場合、一般ユーザは、クライアントコンピュータ12aを通じてサーバ11にアクセスした後、所望する情報に関連するキーワードを内部サーチエンジンに入力する。内部サーチエンジンは、前記入力されたキーワードに適合する情報を提供するウェブサイトを提供するウェブサイトをサーバ11内で検索し、検索された所定のウェブサイトをクライアントコンピュータ12aに提示する。これにより、一般ユーザは、所望する情報を入手することが可能である。この際、内部サー

チエンジンに入力されたキーワードは、サーバ11のログファイルに記録される。

【0016】このようにして、サーバ11が提供する所定のウェブサイトへアクセスするべく、外部サーチエンジン又は内部サーチエンジンの検索に利用されたキーワードは、サーバ11のログファイルに記録される。サーバ11は、所定期間内に前記ログファイルに記録されたキーワードの利用数を、キーワード毎に時系列（日、週、月、年単位等）で集計する。また、サーバ11は、類語辞書を具備しており、前記検索に利用されたキーワードを前記類語辞書を利用して所定の類語キーワードに纏め、該類語キーワード毎にも時系列で集計するように構成されている。ここで、前記類語辞書としては、例えば、「水」と「水分」など共通する文字を含んだキーワードを類語として扱い、共通する文字である「水」というキーワードで纏める簡易な構成の他、「℃」と「温度」とを「温度」というキーワードで纏めるが如く、同義語、広義語、狭義語、関連語等を所定の一語で纏める比較的複雑な構成とすることも可能である。

【0017】以上のようにしてキーワード毎或いは類語キーワード毎に集計された集計結果は、例えば、図2に示すように、所定の期間（図2の例では1月単位）において利用された上位のキーワード一覧として図示表示される。また、図3に示すように、特定のキーワードについて、所定の期間（図3の例では1月単位）毎の推移を図示表示することもできるように構成されている。このように、サーバ11は、検索に利用されたキーワードを、キーワード毎或いは類語キーワード毎に集計し、集計結果を図示表示するため、ウェブサイトの訪問者がどのような情報を求めて訪問したか等のニーズ傾向を簡易且つ的確に把握することができ、ひいては前記ウェブサイトの将来の運営方針を決定するのに有用なマーケティングデータとして利用することが可能である。例えば、図2に示す例では、「リサイクル」及び「中古」が、キーワードの上位を占めており、サイト訪問者の関心が新品のみならず中古品購入等にあることが把握できる。斯かる結果に基づき、例えば、中古品の下取り制度の導入や、中古品販売を強化するようなサイト運営方針を立案することが考えられる。また、図3に示す例では、酸性雨に対する関心が、冬場よりも夏場に高くなることが把握できる。斯かる結果に基づき、例えば、来年の7月から9月にかけて酸性雨をテーマにした特集ページの作成や、商材の強化のようなサイト運営方針を立案することが考えられる。

【0018】なお、図2、図3に示すような集計結果は、クライアントコンピュータ12bを通じて、サーバ11の管理運営者として認証されたすべての特定ユーザが閲覧し得るように構成されている。また、以上に説明したサーバ11の動作、すなわち、検索に利用されたキーワードをログファイルに記録し、キーワード毎及び類

語キーワード毎に集計して図示表示する動作を実行させるプログラムは、CD-ROM等の記録媒体に記録することが可能である。斯かる記録媒体に記録されたプログラムを、検索キーワード解析を欲する所定のサーバ11にインストールすることにより、比較的容易に本システム1を構築することが可能である。

#### 【0019】

【発明の効果】以上に説明したように、本発明に係る検索キーワード解析システムによれば、外部サーチエンジンのキーワード検索機能が利用されて、サーバが提供するウェブサイトにアクセスされた場合、前記サーバは、検索に利用されたキーワードを記録し、キーワード毎に集計するため、斯かるキーワードの集計結果を足掛りとして、ウェブサイトの訪問者がどのような情報を求めて訪問したか等のニーズ傾向を簡易且つ的確に把握することができ、ひいては前記ウェブサイトの将来の運営方針を決定するのに有用なマーケティングデータとして利用 \*

\*することが可能であるという効果を奏する。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 図1は、本発明に係る検索キーワード解析システムの一実施形態を示す概略構成図である。

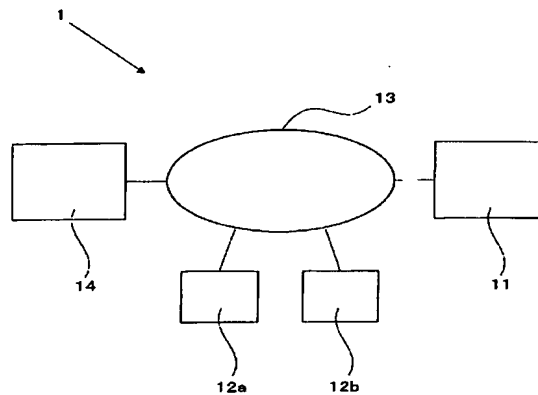
【図2】 図2は、本発明に係る検索キーワード解析システムによって表示される、所定期間における上位キーワード一覧図の一例である。

【図3】 図3は、本発明に係る検索キーワード解析システムによって表示される、特定キーワードについての所定期間毎の推移図の一例である。

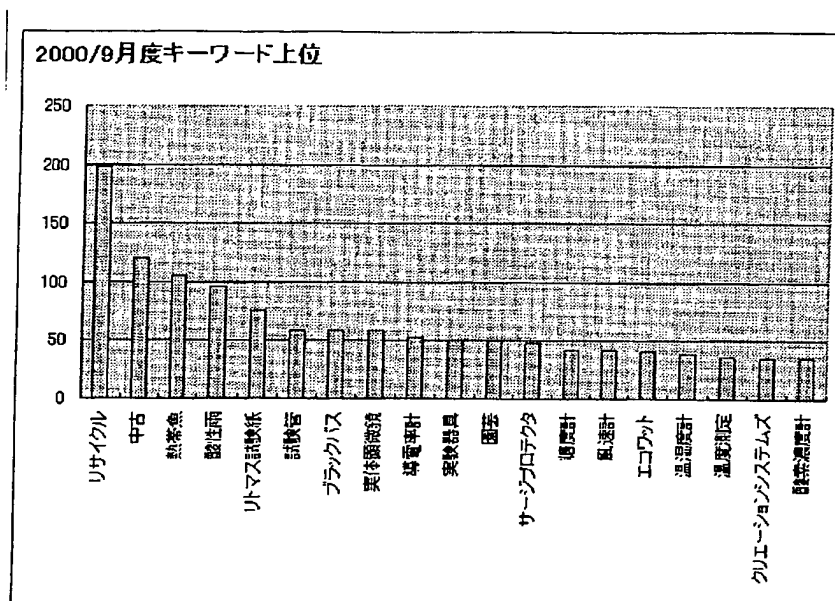
#### 【符号の説明】

1	検索キーワード解析システム
11	サーバ
12a, 12b	クライアントコンピュータ
13	インターネット
14	外部サーバ

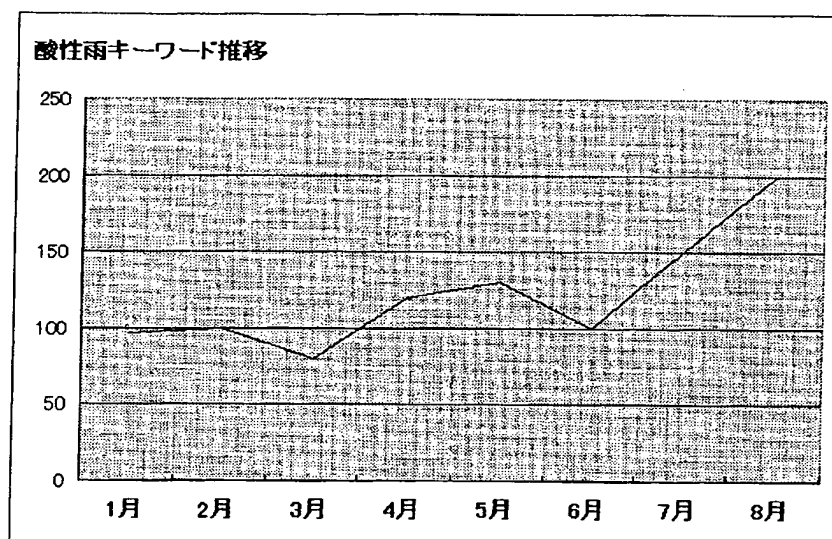
【図1】



【図 2】



【図 3】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 F 17/60

識別記号

5 0 2

F I

G 0 6 F 17/60

テーマコード (参考)

5 0 2

(72)発明者 平尾 真一

兵庫県尼崎市南武庫之荘 3 丁目13番14号お  
おとりマンション302号室

F ターム(参考) 5B049 AA06 EE02 EE05 FF01 GG00  
GG09  
5B075 NK02 NK35 PP22 PQ02 PQ03  
PQ13 PQ46